

セールの完成を祝う ボランティアの集いのご案内

常務理事 平井 顕

今冬は10年ぶりの積雪に見舞われ、ボランティアの皆様も雪かきに苦労されたことと思います。雪もようやく収まり、春の訪れを心待ちにする頃となりました。

この冬も毎週土曜日、日曜日、雪のなかボランティアの皆様に製帆にご協力いただいたわけですが、めでたくフォアアツパーゲルンスル帆とメインアツパーゲルンスル帆の2枚を完成させることができました。また、船輪でご案内したメインアツパーゲルンスル帆につきましても、完成まであと数日という段階となっております。

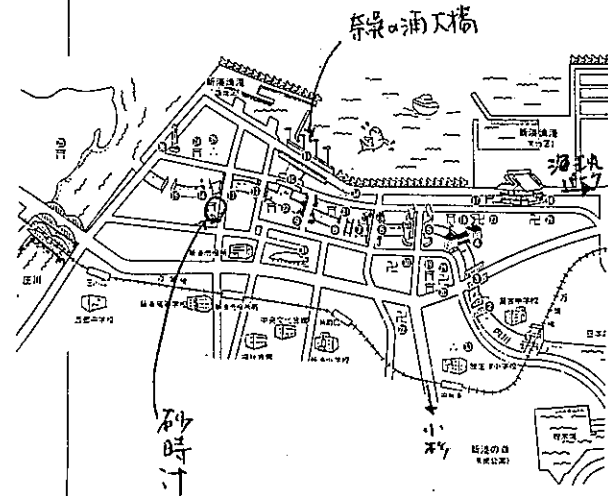
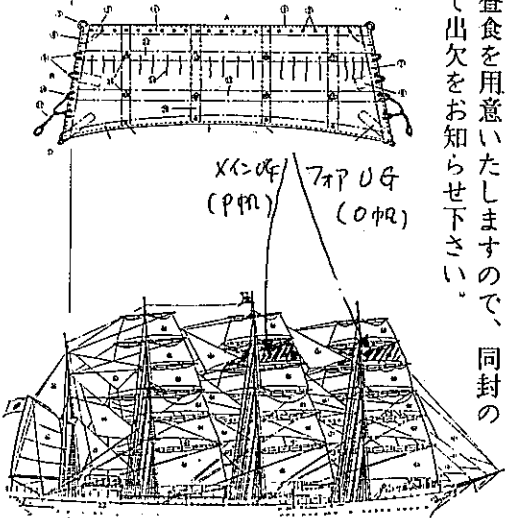
この新たなセールの誕生を全員で祝福するため、左記のとおりセール完成を祝うボランティアの集いを開催いたします。当日は、製帆に参加できなかった方にもお集まりいただき、最終の作業を手伝っていただきたいと思いますので、多数のご参加をお待ちしております。

日時 三月一日(日)
一〇〇〇〜一二三〇

場所 海王丸及び交流センター研修室
◆製帆最終作業
一〇〇〇〜ロバンド作製・取付
(場所) 船内作業場

◆セール完成式
一一三〇〜
海王丸後部甲板、フード前
◆懇親会
完成式後、第一第二研修室にて

簡単な昼食を用意いたしますので、同封のはがきにて出欠をお知らせ下さい。



海王丸スタッフの送別会

世話人 尾山宗美
水野洋子

厳しい冬も寒さが徐々に緩んできて春が待ち遠しい頃ですが、皆様ご健勝のこととお慶びいたします。春は心ときめき、胸躍る季節ですが、同時に別れの季節でもあります。

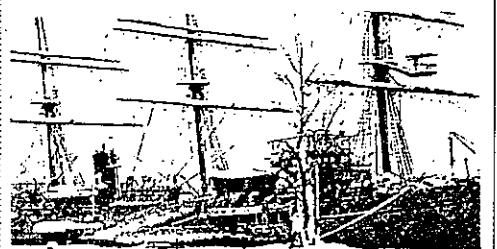
この春、定期異動により上田さん、阪本さん、網島さんの三名の方とお別れすることになりました。つきましては、ささやかな送別会を左記に依り行いたいと思います。当日は「セール完成を祝うボランティアの集い」も行われますので、是非ご出席下さるようご案内申し上げます。

日時 三月一日(日)

場所 セール完成式後午後三時まで
日本海交流センター研修室

◆当日、異動されるスタッフに心ばかりの記念品を差し上げたいと思いますので、記念品代として一〇〇〇円をご用意下さい。また、都合により欠席される方で、記念品にご賛同いただける方ははがきの記念品欄に〇印をご記入下さい。代金は四月以降の展帆日に徴収させていただきます。

◆送別会の打ち合わせ及び準備を三月七日(木)午後六時三〇分から新湊市の「砂時計」(本町1-7-8 TEL:841-1962、略地図参照)で行います。お手伝いいただける方はどなたでも大歓迎です。お集まり下さい。



海王丸の雪に包まれる

海王丸冬景色

この冬は、当初から大雪と噂されていたものの昨年末はさほど雪も降らず、予報がはずれたものどほっとしておりました。しかし、年が明けると状況は一転、雪は降り止まず一〇年ぶりの大雪といわれるほどになってしまいました。ボランティアの皆さんの家庭でも雪かきに苦労されたことと思います。海王丸でも、連日雪かきに追われ、午前一時間午後二時間を雪かきに費やした日もありました。それでも手の回らないところはほとんど降り積もり、無線室の上の甲板などは雪の深さが、六〇センチにもなりました。また、雪も降り積もり、毎朝マストも白くも白く色となり、しかし太陽光で徐々に溶かされ、一〇時過ぎにはひとつまたひとつとドサツという音ともマストから剥がれ落ちてくることになりました。日頃見慣れているオレンジ色が白だけになると海王丸もずいぶん変わった感じに見えます。朝日を浴びて船にたたくむ様はまさしく白鳥のようでもあり、また、横なぐりに降る雪の中を見れば、雄々しく神々しく感じられます。生活には頭の痛い雪ですが景色としてとらえれば、巧みな演出家となるのです。早朝の誰も足を踏み入れていない船上の清々しさ、陽の光をいっばいに浴びたフォクスルでのどかさ、あるいは、ライトだけが灯るなかにははらと雪の降るシエルステージの静寂さ、いろんな冬の景色がありました。

日時 三月十六日(土)、十七日(日)
〇九〇〇から一六〇〇

予定 十六日 フォア・メインのセール取付
十七日 ミズン・ジガのセール取付

◆協力いただいた製帆作業は三月九日(土)まではこれまで通り行いますが、三月十日の完成式をもって、今冬の製帆作業をひとまず終了させていただきます。なお、この日は主にロバンド作製を予定しています。初心者も大歓迎です。奮ってご参加下さい。これまで大雪にもかかわらずご協力いただいた皆様に感謝いたします。

④ラメール定期購読の方へ
ラメール三・四月号が届いています。財団事務所にてお渡ししますので受け取りにお越し下さい。

◆セールの取付を予定しております。日程については左記のとおりです。ご協力をお願いいたします。

◆協力いただいた製帆作業は三月九日(土)まではこれまで通り行いますが、三月十日の完成式をもって、今冬の製帆作業をひとまず終了させていただきます。なお、この日は主にロバンド作製を予定しています。初心者も大歓迎です。奮ってご参加下さい。これまで大雪にもかかわらずご協力いただいた皆様に感謝いたします。

④ラメール定期購読の方へ
ラメール三・四月号が届いています。財団事務所にてお渡ししますので受け取りにお越し下さい。

平成八年度海王丸の主な行事は左記のとおりです。八年度も十回の総帆展帆を予定しています。七月二十日はいよいよ海の記念日が国民の祝日「海の日」となります。また、九月には海王丸パークが国民文化祭の会場となるため、連日の展帆をお願いすることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。なお、急きょ依頼があり六月に高校生クイズへの協力という形で特番の展帆をお願いすることになりました。重ねてご協力をお願いいたします。

◆平成八年度総帆展帆予定

- ① 四月二十八日(日)
- ② 五月 六日(月)
- ③ 六月 二日(日)
- ④ 七月 七日(日)
- ⑤ 七月二十日(土) 海の日
- ⑥ 八月 十一日(日)
- ⑦ 九月二十八日(土) 国民文化祭
- ⑧ 九月二十九日(日) 国民文化祭
- ⑨ 十月 二十日(日)
- ⑩ 十一月 三日(日)
- 特番 六月二十三日(日) 高校生クイズ

◆新ポランティア養成訓練

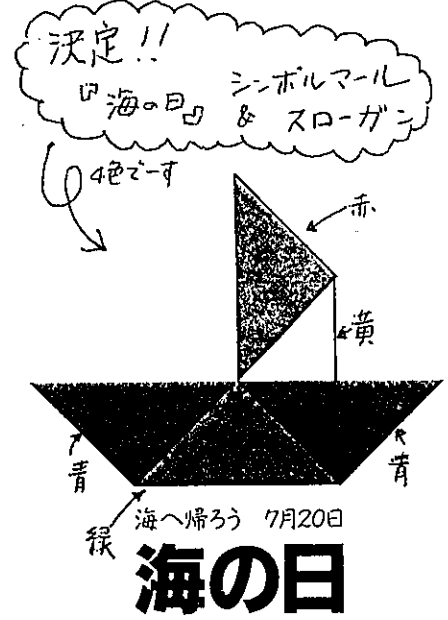
- ① 四月十三日(土) 二十一日(日)
- ② 五月十八日(土) 十九日(日)
- ③ 六月十五日(土) 十六日(日)
- ④ 七月十三日(土) 十四日(日)
- ⑤ 九月 七日(土) 八日(日)

◆主催事業で行う海洋教室

- ◇一泊二日コース
 - ① 五月十一日(土)、十二日(日)
 - ② 六月 八日(土)、九日(日)
 - ③ 七月十三日(土)、十四日(日)
 - ④ 九月十五日(土)、十六日(日)
 - ⑤ 十月 七日(土)、八日(日)
- ◇一日コース
 - ① 六月二十二日(土)
 - ② 九月二十二日(日)
 - ③ 十月二十二日(日)

◆四月の行事

- ① ポランティア練習日
四月七日(日) 十四日(日) の午後
- ② ポランティアの集い
四月二十日(土) 夕刻



タグボートからみた海王丸新港回航記 その三

タグボート「らいちょう」 一等航海士 磯辺高次

◇沖合い
十一時十六分、富山港沖二マイル交差点(Bポイント)をゆっくり通過。進路を西より(二七五度から二八五度)に変え、速力も五ノットないし六ノットに増速しました。途中の船舶高専沖では陸上から三マイルから五マイル位離して航行します。これは富山港航路から新港航路の間に海岸から二マイルまで沖合いに張り出している定置網が数カ所あるのでこれをかわすためです。

◇昼食
十二時頃、らいちょうでは交代で昼食をとることになりました。船長と私は二時間交替で操船するため、船長と交代して食事に降りて行きました。乗組員も機関部と甲板部の中でそれぞれ交替でワッチ(当直)にあたり非直の方が食事をとることとなります。食事をしているときは緊張感から解き放されず、この日はうねりもなく強い風も吹いていなかったためサロンでゆっくりと食事が出来ました。うねりがあったり、風が強かったりすると、サロンのテーブルに布を掛けて食事をとることになります。船が小さいためローリング(横揺れ)がありお椀を手から離せない状態になるため、美味しく食事をとることが出来ません。私が食事をとっている間も、らいちょうは船長の操船で、海王丸を押ししたり曳いたりしながら新港に向かって進んでいます。

◇新港入港
食事を終えブリッジに行く。船は新港沖の網の端のところまで進んでいました。船長と交替し、再び私が操船をしました。十二時二〇分頃新港沖一・四マイルの交差点(Cポイント)を通過し、新港西防波堤沖の四号ブイに向け進路を南西より(二三〇度から二三五度)に変えました。四号ブイ通過後は新港港口中央に向け進路を変え、十二時五十五分、新港の灯台(Dポイント)を通過して港内に入りました。

◇パイロット
パイロットの方々にも個性がありまして、当日のパイロットは普通の船舶の場合とは港口までは速力が速くタグボートが追いつけないほどですが、港内のブイ手前からは急に速力を落とすゆくりと岸壁に接岸させるタイプの方です。この方法は港内に入ってから安全でかつタグボートが安心して本船の補助をする事ができますが、時にはあまり遅すぎてタグボートを操船していららざることもあります。今回もゆっくりと時間をかけて、押し、引き、停止を繰り返して、北埠頭に出船ついで係留するために対岸の五号、六号岸壁付近で大回りして回頭しました。

十四時一〇分、北埠頭着岸。その後、船尾を曳いていた清開丸のタグラインを放し、日通丸は船首の綱とり作業につきました。左舷船首のらいちょうと左舷船尾の日本海丸の二隻のタグボートで海王丸の左舷側を押し続け、岸壁から離れないようにして、船首尾をロープで岸壁に完全に張り合わせて固定します。作業が終了するまでタグボートは押し続けています。

十四時五十五分、パイロットから「ストップ! 作業終了」の指示が出てやっと作業が終了しました。なお、引き船総使用時間は富山港待機時間から新港着岸終了まで五時間一〇分でした。

の方々には朝早くから「はまゆう」に乗船し、富山港港外に待機して回航開始から西時間の間、伴走しご苦労さまでした。最後に財団の方々に、タグボートから見ても、今回のチャーター船によって多数のポランティアが回航を見学できたことはよかったです。一般のポランティアの方々はこのような光景を見る機会がないので次回の回航の時にもこのような企画を是非取り入れてもらえたらと思います。(終わり)

タグボートでの話、楽しんでいただけただけでしょうか。専門用語などわからないところがあれば気軽に質問して下さい。

来号からは武田さんから寄稿いただいた「東京ハワイ 新海王丸に乗る」を掲載いたします。ご期待下さい。

皆様、新年おめでとうございます。財団宛多数のお年賀状をいただきありがとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。さて、冬の時期はのんびりと過ごせるだろう間にも過ぎてしまっていました。一月二十七日、新湊地区ポランティアの新年会に参加させていただきました。キトキトの魚をつまみながら話も弾み、楽しいひとときでした。ポランティアの山谷さんからは祝いの席で欠かせない「めでた」も聞かせていただき、私も語るようになりたいたと思つた次第です。二月一〇日、十一日には泊りの海王丸ポランティア・スキーツアーにも参加しました。両日とも天候に恵まれ、最高でいきました。この日のために牛岳スキー場に練習にいらしましたが、日帰りでスキーができる環境は、なんとか皆さんについていくことができて、はっとしました。

海王丸の輪が少しずつ広がっているのを知り、嬉しく思います。また、船輪も何かのお役に立てばと思います。皆様からのご投稿をお待ちしています。

